

33歳

四月 伊豆西海岸を桜田勝徳と調査。

〔大隅半島調査〕  
二月一日鹿児島朝四時着・鹿児島・垂水・伊坐敷、二日伊坐敷・尾波瀬・大泊、三日田尻・岬・大泊、四日外之浦・間泊・郡・馬籠・折山・辺塚、五日辺塚・打話・大浦、六日大浦・船間、七日内之浦・志布志。  
そのあと宮崎県南那賀郡海岸、都井岬・市来・堂浦・油津・飲肥・酒谷・都城、二月二日宮崎（夕方着宮崎神宮参拝、日野巖博士を訪う）、杉安（泊）、二日杉安・東米良銀鏡、三日銀鏡、四日銀鏡・南郷村上渡川（泊）、二五日上渡川・椎葉村大敷・大河内（泊）、二六日大河内・臼杵保・上椎葉尾八重（中瀬淳毛泊）、二七日尾八重・下椎葉・富高・赤崎・臼杵石仏・別府を歩き大阪に船で出、三月東京に帰る。全行程五〇日ほど。

五月一八日～六月四日 桜田勝徳と宝島調査。

あと桜田と別れて富士吉田から山梨県都留・秋山・上野原まで歩く。  
一八日間滞在。六月一六日奄美大島名瀬着、喜界島を歩き、帰途山口によって郷土資料を筆写し七月東京帰着。

四月には満州に行くはずになっており、留守中に大山彦一教授が正式交渉にきたが、洪澤が満州行きを断ったので断念する。  
九月 洪澤と出雲山口をあるく。

〔洪澤と出雲山口の旅〕  
七日松江・佐多神社・江曇・片句、八日片句・江曇・松江・市山（牛尾三千夫）・島根県邑智郡日貴村青笹、九日青笹・田所、一〇日田所・出羽（牛市）・田所、一日大朝・横川・柳井港・小松・久賀、二日白木村長崎（宮本家）、三日長崎・外入・沖家室・外入・柳井港。（洪澤旅譜）

一二月八日～一二日 新潟県葡萄山北から山形県大島に越え、山形・秋田・青森・岩手・福島を歩く。主としてオシラ様を調べる。

新潟～山形～秋田～青森～岩手～福島

\*この頃からウエルターのブロー二判で写真を撮る。

柳田（65歳）  
東京帝国大学で日本方言学会創立大会が開催され、初代会長に就任。

一月 郷里の農具調査。

二月 愛媛・高知・徳島を歩く。

三月二日夜、伊予土佐国境の永い旅からの帰途沢田四郎作宅に立ち寄り、調査談をする。（『雪の伊予土佐探訪記』『大阪民俗談話会会報』昭和一六年度第四号～第六号）

四月 淡路沼島調査（一六日～一八日）。

兵庫県沼島

昭和16（一九四一）年

- 41 日ソ中立条約調印
- 41 ハワイ真珠湾攻撃
- 41 米英両国に宣戦の詔書（太平洋戦争始まる）
- 41 小学校が国民学校となる

- 41 食料増産のため桑園六万六〇〇町歩整理を発表

- 41 停電時代
- 41 米穀割当配給制実施、世帯単位で米穀通帳制と外食券制度に
- 41 キャベツ急速普及
- 41 ビン詰めオレンジジュース
- 41 里の秋（歌）